

令和元年 総合科学コース1年 特別講義

「理科から繋がる臨床工学」

姫路獨協大学 医療保健学部 教授 小寺 宏尚 先生

5月29日（金）13：20～15：10

今回の特別講義では、前半は「理科」がどのように将来に繋がるか、医療系分野を中心に説明して頂きました。後半では臨床工学技士の具体的な仕事の内容などを先生の体験も交えて紹介して下さいました。

8月のサマーサイエンスキャンプの導入ということで、生徒達も大学での体験学習が、さらに楽しみになったようです。

<生徒の感想より>

- 高校で習う理科が、医療の仕事に直接関わる事が分かり、将来のためにも今書いているノートを大切に保管しようと思いました。
- 医療関係の仕事は、大切な人の命を預かっているので、本当に大変で、医療機器の点検なども大切な仕事だと分かりました。
- 病院で働く様々な専門職が集まってチーム医療になることを知りました。どの仕事も必要不可欠だと分かりました。
- 今、僕たちがしている勉強が、大学に行っても役に立つということが分かりました。テストで良い点をとることだけではなく、しっかり頭に入れる勉強をしたいと思いました。
- 臨床工学技士が、手術中の機械や、集中治療室の人工呼吸器の管理などをしているということを知り、とても大切な仕事だと知りました。
- 簡単に医療系を目指すといっても、それを実現するためには、それに見合う努力をしなければならぬと思いました。臨床工学技士は、直接人命に関わることもあり、大変な仕事だけれど、その分やりがいのある仕事だと思いました。ある意味病院の全てのが、命に関わるのだと思いました。

